

	牧師 山本護	司式 清水由可	奏楽 椰野真弓
前 奏	黙想		祈 禱
頌 栄	101 いずこの家にも		讃 美 歌 121 まぶねのなかに
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	サムエル記下 12:1~4 マタイによる福音書 1:17		主の祈り 564
讃 美 歌 96	エサイの根より		頌 栄 544 あまつみたみも
説 教	『 イエス・キリストの先祖 』		祝 禱
	長崎 哲夫 牧師		後 奏

今日から12月24日まで主の降誕節。だが、この日程は聖書には無く、後の時代の教会の所産だ。しかし、教会人の主を待つ心は何時の時代の誰にも等しく喜びと晴れやかな日々だ。聖書はそうした人々に系図をもって「イエス・キリスト」が何処からおいでたのか知らせようとする。もっともこの方の二つの呼び名は、救い主イエスの意味だが、この呼び方は50年頃のパウロの影響があるだろうが、80年頃書かれたマタイ伝には1:1及び1:18にしか出て来ないことで知られている。

この際イエスの先祖を見渡すと訳ありだが、訳分らぬ人々が半数もいる。人の名前にはその人の生涯の重みがあり、無視はできない中、ユダヤでは異例のタマル・ラハブ・ルツ・ウリヤの妻・ヨセフの妻マリア等5人の女性の名が見える。これはどんな人をも決して差別せず、人としてまともに出会い、その尊厳を些かも減じなかったイエス・キリストの基本的な姿勢の大いなる証しである。

タマルはユダの長男エルムの嫁。彼女は夫の死後再婚できず、舅ユダを騙して杖と印章を奪って子を得る(創38:18)。ラハブはヨシュアのヨルダン渡河を助けたエリコの遊女(ヨシュ6:25)。ルツは飢饉のベツレヘムからモアブに移住したナオミの死んだ息子の嫁で姑と共に故国に来た(ルツ1:18)。ウリヤの妻バテシバは美貌の故に王ダビデに強引に妻とされ、次男ソロモンの母となった(IIサム11:1)。主の母マリアには様々な憶測があり、昔の美術評論家矢代幸雄等彼女を遊女とした作品を紹介していたことがある。

イスラエル第2代王ダビデを、ルカは特別扱いはしないし、イエスをヨセフの子としてもいる(3:23)。マタイはユダヤ人としてダビデを前面に押し出し、イエスは「ダビデの子」(IIサム7:14)と殊更強調し、アブラハム・ダビデ、ダビデーバビロン捕囚、バビロンキリストへと各14代の区分をした。詩編(琴の意)1—72篇はダビデが子の親として、武人として、主の前に孤独な存在として、信仰共同体の人間観と世界観との相克を抱えつつも尚信仰者として主の前に出る姿を表出している。

旧約聖書はダビデを詩編とサムエル両記で明らかにする。この内カフトル今のクレタ島から来た「海の民」ペリシテ人に彼らの「神の契約の箱」を奪われたことから、イスラエルはサムエルのような士師(ヨルダン渡河から王国設立までの軍事・政治の指導者)ではなく王を求めた。そのことはイスラエルが軍隊を擁した国家(Iサム8:1)になることであり、それまで鉄器を用いたことの無い民族(同13:19)が王サウルを戴いて向かう所で勝利する。その間サウルは値打ちなき戦利品は滅ぼし上等のものを残したり、自分の戦勝碑造成を勧める等王の資格を問われ失脚する(同15:9)。

ベツレヘムのエッサイの八男ダビデは、少年時代(同16:17)から王サウルに疎まれつつもエン・ゲディ(同24)やギブアのハキラ(同26)で神の義を証しし、サウルの娘ミカルの蔑み(IIサム6:16)やサウル家のシムイの呪い(同16:6)とは別にペリシテから神の箱を奪還し(同6:1)、エブス人アラウナの麦打ち場を買い取って後の神殿造成地とする(同24:16)大いなる義挙の一方、バテシバの娶り方や息ソロモンの成長(同11:19)には尚紆余曲折を歩む者であった。(長崎哲夫牧師の説教要約)

本日の説教は長崎哲夫牧師。長崎牧師には奇数月の第四主日の礼拝で説教をお願いしています。今日から待降節。11/30(水)11:00~聖研・祈祷会、1:00~3:30 教会カフェ開店。次主日12/4の礼拝後に役員会をおこないます。山本牧師の動き:12/3(土)10:00~11:00 山梨英和学院全職員クリスマス礼拝で説教(大学)。12/5(月)YMCAで聖書のおはなし。12/8(木)山梨英和中高同窓会のクリスマス礼拝で説教(中高)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。